

「第2次石巻市健康増進計画(案)」に対するパブリックコメント意見一覧

番号	項目	意見・提案の内容(要旨)	石巻市の考え方
1	がん	<p>受診率向上のために、団体の取り組みとして計画書にあげていますが、実践することが大切だと思います。</p> <p>地域と協働して取り組んでいくことが大切だと考えていますが、どのように実践するのが無いように思いました。推進する中で、実践したことを確認する必要があると思います。</p>	<p>ご意見のとおり、計画を着実に推進し、実践したことを確認できるよう関係機関と目標数値を定め、皆さんのご意見を取り入れながら、達成できるよう努めてまいります。</p>
2	高血圧・糖尿病	<p>指標に週1回以上血圧を計る人の割合とあるが、血圧計を持っていない人も多いため、むずかしいのではないかと思います。どのようにお考えですか。</p>	<p>血圧計が自宅にない方もいらっしゃると思いますので、市庁舎や保健相談センターなどの血圧測定器を設置している場所や「まちの保健室」など、血圧測定や健康相談ができる場も周知してまいります。</p> <p>また、近年は家庭用血圧測定器も入手しやすい状況にあり、家庭での血圧測定の重要性についても啓発していきたいと考えています。</p>
3	COPD	<p>COPDの意味がわからない人が多いので、わかりやすく正しい情報を伝えて欲しいです。病名だけでなく原因なども含めてお願いします。</p>	<p>まだ一般的に浸透していない病名ですので、原因も含めてチラシの配布や各種保健事業などを通じて周知に努めます。</p>
4	COPD	<p>「COPD」(P49) COPDとタバコの害について普及啓発に力を入れているようですが、児童や父母など若い世代への指導の機会は今までも活発に行われていると感じていますが、喫煙者の多い年代に対しての指導を増やしていただきたい。</p>	<p>喫煙者ご本人にも十分な知識を持っていただきたいので、チラシの配布や健診後の保健指導等を通じて啓発に努めます。</p>
5	栄養・食生活	<p>男性の食習慣改善はむずかしいと感じています。計画書に普及する方法(ポイントやイラスト等)を入れて広く市民に伝えてほしい。目のつきやすいところにどんどん貼り、普及していけるようお願いしたい。</p>	<p>男性に限らず食習慣の改善はむずかしい課題ですが、概要版の配布や各種保健事業などを通じて啓発に努めます。</p>
6	身体活動・運動	<p>震災後仮設の設置等、運動する機会が減少した。環境づくりも大切だと感じているがウォーキングやダンベル以外の運動も考えていく必要があるのではないかと思います。</p>	<p>震災後は運動する機会が減少しておりますが、関係各課、関係団体と協力して、身体活動・運動の機会や場の拡充に努め、普及する運動についても検討してまいります。</p>

番号	項目	意見・提案の内容（要旨）	石巻市の考え方
7	身体活動 ・運動	<p>現在、月に一度、石巻赤十字病院の講堂で男女問わずどなたでも無料で参加できる健康体操教室を行っています。</p> <p>健康体操教室に参加してくださる方は、私たちがチラシを配付しても、なかなか声が届かず、やはり参加者には、病院の先生や行政などがすすめると「運動しなければ!」となると思います。</p> <p>「健康体操教室をやっているみたいなので1回行って体を動かしてみてください」という一言と一緒にチラシをお渡ししたいと思っています。</p> <p>石巻市で健康体操教室を開催するときは私たちもお手伝いさせていただきたいと思っています。</p>	<p>健康体操教室を開催していただいていることに感謝いたします。</p> <p>関係各課、関係団体と協力し、市民が参加できる運動教室等の情報提供に努めます。</p> <p>運動の必要性については、各種事業などを通じて周知に努めます。</p>
8	身体活動 ・運動	<p>介護支援制度の拡充、健康寿命の延伸に関する取り組みは自治体でも多く見られますが、健康に関することは他課との情報交換、共有が必須となります。</p> <p>様々な団体が羅列されていますが末端のスタッフまで健康推進計画が周知されているのか疑問があり、何となく教室を開催しているように見えます。各教室の現場スタッフの共通理解を持つことが参加する市民の意識改革に繋がることとなります。</p>	<p>ご意見のとおり、介護支援制度の拡充、健康寿命の延伸に関する取り組みは他課との細やかな情報交換、情報共有が重要であり、関係各課、関係団体と協力しながら、市民に広く周知されるように努めてまいります。</p>
9	身体活動 ・運動	<p>寝たきりに進む第一歩は、活動量、歩くことの減少で、足腰の筋力低下、体幹筋力の減少予防の必要性を自覚させることが重要です。</p> <p>そのためには、運動への意欲を持ち、ゲーム感覚を持ち目標を定めることで達成感を実感できるようなプログラムが開発、提案されるべきです。</p> <p>特に、運動習慣のなかった方や男性がリタイア後の人生の目標を早期に発見する機会を与えることが重要だと思えます。</p> <p>例：60歳からの健康ライフ手帳の作成・配付 毎日の運動記録や目標の達成をみえる化</p>	<p>ご意見のとおり、足腰の筋力低下、体幹筋力の減少予防の必要性を自覚することが大切です。</p> <p>関係各課、関係団体との協力において、身体活動・運動の機会の拡充に努めます。</p>
10	こころの健康	<p>「ストレスがあっても自分なりに処理できる人を増やします」(P55)</p> <p>今は人とのつながりも薄くなっているので、良い意味でのお茶のみでストレスを軽減できれば良いと思います。</p>	<p>貴重なご意見として承ります。</p>

番号	項目	意見・提案の内容（要旨）	石巻市の考え方
11	こころの健康	「こころの相談窓口について周知します」（P57） 市報等に掲載されても、なかなか見ることが少ないと思うので、保健推進員や地区の班長が1人ずつちらし等を配布できると顔が見えてよいと思います。	ご意見のとおり、保健推進員等を通じ地区で配布できるよう取り組み、周知してまいります。
12	次世代の健康	すべて子どもの頃から始まるので、食生活・運動・心等に健康環境づくりも大切だと思うし、次世代の項目があることは、とてもいいことだと思います。	貴重なご意見として承ります。
13	高齢者の健康	「閉じこもりの高齢者を減らします」（P29） 外に出るきっかけとして健康体操とかラジオ体操などを通して活動ができれば、それをきっかけにお互いのお茶のみとかに発展できれば良いと思います。	関係各課、関係団体と協力し、閉じこもりの高齢者の減少に努めております。ご意見は、計画を推進する際に参考とさせていただきます。
14	高齢者の健康	震災前、地域の人達とスポーツ（ウォーキング、ゲーム、ストレッチ）や、季節の行事等で集まり、皆さんと話し心身共に豊かになり楽しい時間を過ごしてきました。 震災後は、皆さん「こころ」にゆとりがなくなり集まることがなく、年を重ねてきたからこそ「健康寿命」を延ばす意味でも、またそのような機会があればと考えています。	地域の方の交流は、心や身体の健康づくりにとても重要なことです。 今後は、皆様のご協力を頂きながら、地域での交流の機会や場を提供させていただき、健康寿命の延伸に努めてまいります。
15	高齢者の健康	「高齢者の健康」（P34） 町内会や自治会などの関係機関や団体との連携を図ることは地域コミュニティを活かした高齢者の健康づくりの支援へとつながり、介護予防や健康寿命の延伸にとっても必要だと思います。 私は現在おたからサポーター「結」のメンバーとして市内の集会所や地域のサロン会などに訪問し、健康体操やお話をしており、ほとんどが高齢者です。 私は50代ですが自分も周りの皆さんも出来るだけ健康で長生きできるようお役に立てるようこれからも活動を続けていきたいと思っています。	おたからサポーター「結」のメンバーとしてのご活躍に感謝いたします。 ご意見のとおり、町内会や自治会などの関係機関や団体との連携を図ることは地域コミュニティを活かした高齢者の健康づくりの支援につながり、介護予防や健康寿命の延伸に重要なことです。これからも共に市民の健康づくりを担っていただければ幸いです。

番号	項目	意見・提案の内容（要旨）	石巻市の考え方
16	高齢者の健康	<p>「高齢者の健康」(P70)</p> <p>大目標として心も身体もいきいき. 元気高齢者の増加とあり、みんなでめざす目標には「自分の健康に関心を持つ元気な高齢者を増やす」や「高齢者の交流の場や機会を提供する」などがあります。</p> <p>老人クラブや生きがいデイサービスなど人が集まる場所に出かけられる方は元気な方達が多く、外に出ない出られない高齢者こそ声かけが必要に感じます。</p> <p>できれば高齢になる前の世代から健康寿命を延ばす意識を高め、年代を超えて会話を楽しむ健康体操等の場が増えて欲しいと思います。</p> <p>交流の場を設けても高齢の為運転を辞めた方や旦那様が運転を辞めた為に夫婦ともに参加が難しいなどの問題もあります。交通手段について何か応援していただける方法はないでしょうか。</p>	<p>ご意見のとおり、外に出なくなった高齢者こそ声かけなどが必要で す。関係各課、関係団体との協力において、 高齢になる前の世代から健康寿命を延ばす意識を高められるよう働きかけに努めます。</p> <p>交流の場への交通手段については、関係各課や関係団体を交えて検討してまいります。</p>
17	市の方向性	<p>健康課題への対策としては、「地域全域すみずみに浸透する」よう推し進める必要があります。具体的には、「運動普及ボランティア」や「聞き上手養成講座」、「傾聴ボランティア」など、市民が積極的に参加できる機会をつくっていく上で、「近くで参加できる」「歩いてその場所に行ける」「毎月（場合によっては毎週）参加や受講ができる」ことが必要だと思ひます。全域で高齢化が進み、少し若年の高齢者が高齢者を支える時代です。</p> <p>第1次健康増進計画では、事業傾向として「継続性はあるもののスポット的（散発的、または単発的）」であったり、「事業を行う地域が集中している」ことがあったと思ひます。第2次計画では、石巻市、各団体様で「さらに身近で参加しやすい」「参加できる回数も多い」ことなども、目標として挙げていただきたいと思ひます。</p>	<p>ご意見のとおり、広域な本市においては、アクセスの集約地点である市役所付近や総合支所での活動が多いことは事実です。各関係機関や団体と連携し、身近で参加しやすい場の拡充に努めます。ご意見は、計画を推進する際に参考とさせていただきます。</p>
18	市民の健康状況	<p>「市民の健康状況」(P12)</p> <p>平均寿命、健康寿命ともに石巻市は宮城県を下回っているようですが生活習慣病や社会環境の改善に向けて市ではさまざまな取組をしていただいています。</p> <p>市の取組を受ける側が自分や家族の健康に関心を持って栄養や食生活について重く考えるべきではないかと思ひます。中でも職を持つ世代は健康管理の指導を受ける機会が少ないのではないかと思ひます。もっと自分の健康状態を考えることが必要だと思ひます。</p>	<p>ご意見のとおり、職を持つ世代については、直接に健康指導を促す機会は少ないですが、各事業者への呼びかけや概要版の配布、各種啓発事業などを通じて周知に努めます。</p>

番号	項目	意見・提案の内容（要旨）	石巻市の考え方
19	分野別の取組（目標値）	<p>「目標値」について 平成 27 年度を現状として、平成 38 年度の市民健康調査結果上の目標数値を、上方修正する必要があると思います。</p> <p>例えば、中目標「休肝日をもうける人を増やします」現状 60.0%から目標値が「63%」ですが「80.0%以上」が好ましいと思います。</p> <p>中目標「受動喫煙の機会を減らします」は「職場」の目標値が 0%ですが、「家庭」が 19.1%です。「職場」であっても「家庭」であっても目標値は 0%に近い方がよいと思います。</p> <p>2次計画が終了したときには、目標値に対して市民健康調査結果が超えていれば事業が成功したと評価できると思いますが、目標を低く設定することは問題です。</p> <p>アンケート集計を大幅に改善していく必要もあると思います。「第 1 次」の集計結果を考察すれば、「市民レベル」の判断としては、調査結果上において、目標が達成したか疑問視される調査結果だったと、思います。また、「正しい評価ができる基準づくり」をする必要があります。アンケート集計を大幅に改善していくことを含めてお願いいたします。</p>	<p>ご意見のとおり、中目標「受動喫煙の機会を減らします」の「職場」0%の目標数値は、国や県の目標数値にあわせて設定しておりますので、「家庭」においても、同様に 3%にあわせ変更したいと思います。</p> <p>さらに、中目標「COPDを知っている人の割合」の目標値 53.0%から国の目標値 80.0%に変更したいと思います。</p> <p>他の目標値の目標設定については、国の健康日本 21（第 2 次）において、実行可能性のある目標をできるだけ少ない数で設定すべきという基本的考え方から、当計画においても実行可能な目標数値に設定しておりますが、5年後の中間評価で見直しを行い、更なる計画の推進に努めてまいります。</p> <p>また、アンケート集計につきましては、専門のアドバイザーの助言をいただきながら進めてまいります。</p>
20	関係団体等の役割	<p>「関係団体の役割」（P78） 地域での交流の場で健康づくりや生活習慣病等の指導の機会を増やした方が、改まって参加者を募る勉強会的な集まりより多くの方に伝わるし、関心のない方にも伝わり、自分のみならず家族の健康など考えるきっかけになるのではないかと思います。</p>	<p>会社やサークル、地域での交流の場などで健康づくりや生活習慣病等の指導も実施しております。</p> <p>今後も出前講座等を活用していただくなど、健康を考えるきっかけづくりとなっていただければ幸いです。</p>

皆様からのご意見を参考にしながら、計画の推進に努めてまいります。